

## 入選

### 大切な友達

千葉県 旭町中学校 3年 小柳 咲季

私にはある一人の大切な友達があります。彼女は、小学4年生から続けている吹奏楽部で同じ楽器を吹いています。同じ楽器を吹いていることもあり、部活の時間は常にいっしょにいたので、彼女はいつのまにか私にとって欠かせないパートナーとなっていました。

去年の11月頃、彼女は突然学校に来なくなってしまいました。もともと体が弱い方だったので、最初はあまり気にしていませんでしたが、一週間たっても学校に来なかったので、気になった私は彼女にメールをすることにしました。しかしメールを送っても、いつもはその日のうちに返ってくるのに、このときは全く返ってきませんでした。体調が悪いからだと思い、それ以上は送りませんでした。

その後一ヶ月たっても、彼女は学校に来ませんでした。彼女と一番仲の良い友達ならなにか知っているかと思い、聞いてみようと思っていた矢先のことでした。彼女が一番仲の良い友達から、

「学校に来たくないらしいよ。」

と言われました。私は、頭が真っ白になりました。私は学校に行きたくないと思ったことが一度もなかったのに、彼女の感情を理解することにすごく苦しみました。また行きたくない理由を誰も知らなかったのに、自分が原因で行きたくないのかもしれないとかすごく考えて、自分まで学校に行きたくないと感じるときもありました。

でも、このままじゃダメだと思って、同じ吹奏楽部の3年生にメッセージを書いてもらい、それを彼女の家へ届けることにしました。私には少し勇気のいることでした。数日後、彼女の家へ届けに行きました。彼女とは会うことはできませんでしたが、彼女のお母さんから後日、

「とても喜んでたよ、ありがとう。」

と言われ、やってよかったなと思いました。

今、彼女は学校に来ています。8月にあったコンクールで私たちは引退しました。5年半続けてきた部活動をもうやれなくなるのはとても悲しいことですが、最後に、一度あきらめかけた「二人で舞台上に立って演奏する」ということができ、一生の思い出になりました。また、今まではいっしょにすることがあたりまえ過ぎて気づきませんでした。彼女が隣にいなかったときに、彼女の大切さに気がつきました。

こうして考えると、メッセージを渡しに行ったときに勇気を出してよかったなと思います。失ってから後悔するのでは遅いです。失う前にできること、やれることはたくさんあります。しかし、失ってからできることはとても限られてしまいます。みなさんも、大切な家族や友達に今伝えられること、今しかできないことをしてあげるべきだと思います。その中で私は、メッセージを書き、届けるということをしました。これが、私が彼女にした小さな親切です。